

磐田市文化会館建設検討委員会（第10回）会議記録

【日時・場所】

平成28年10月17日（月）19:00～21:00

磐田市役所4階 大会議室

【出席者】

建設検討委員会委員：青島美子、浅羽 浩、小野泰弘、佐藤典子、鈴木正善、鈴木洋子、鳥居 勤、
永井聡子、袴田茂人、平野邦孝、村松勇夫

事務局：酒井企画部長、清水市民部長

秘書政策課：袴田秘書政策課長、鈴木雅

文化振興課：大庭文化振興課長、小澤、丸尾、新貝

建築住宅課：渥美、高林

環境デザイン研究所：斎藤、小高

1. 開会

最終答申内容の確認・・・事務局説明

（会長）

規模、機能の検討ということでホール、創造系施設、交流系施設、その他より、最初はホールについて意見を伺いたいと思います。客席数は1500席が望ましいということ。客席の構造は2層式とすること。座席は、ゆったりしたサイズの3つを記載しています。この他、意見がありましたらお願いします。

（委員）

9月末に市内小学4年生が音楽発表会を行い、1500席が保護者等で満席になったと聞いています。客席数は1500席でお願いしたいと思います。また、小学4年生でも、座っている前を通過するのは狭く窮屈だったということです。横幅ばかりでなく前後の幅も考えていただければと思います。

（委員）

前の座席に大きな方が座ると後ろの座席の方は舞台が見えなくなることがあります。劇場によっては、列をずらして椅子を配置すると聞きますがどうですか。

（コンサル）

「千鳥」配置と言い、舞台を見た時に前列の方の肩越しに舞台が見えるという配慮で、多くのホールで採用されています。新しいホールの客席設計ではそういう配慮は必要だと思います。ただし、正面の場合を除き両脇は、ずらさない方がよい場合もあり、位置によっては多少の有利、不利が生じます。

(委員)

大変見やすく、つまった座席でも千鳥配置にすることで多少余裕が出るよう思います。また、2層の場合は、2階の前列をどこに持ってくるかにより舞台が遠く見えるといったことがあります。あまり前にすると2階の下の1階席が暗くなるなど、いろいろなことがあると思います。

バルコニー席を有する劇場も多く、今度の劇場はどのように考えていますか。バルコニー席は見た目の格好はいいのですが真横へ行くと袖を見ているような形になります。

(事務局)

視察もさせていただいていますが、バルコニーから見る景色というものは、舞台が半分隠れてしまうことがあります。今回は、1層、2層の中で席を確保するというところで、今後の検討課題です。

(委員)

形としては、非常に豪華に見えますが座ると見えにくく感じます。

(委員)

この辺りは、運営に関わる話だと思えます。オペラ劇場では横から見ると違う臨場感というか、お客さんと舞台の一体感を感じるというようなこともあり、バルコニー席の設置はケースバイケースです。地域の劇場では、よく見える方がいいという声の方が多いかもしれません。

(委員)

今まで議論になりませんでした。親子室を検討していただきたいと思えます。最近、親子室のないホールが増えていますが必要だと思えます。クラシックでは子どもの泣き声等は完全にNGです。コンサートによっては入場を制限しています。子育て時期でもクラシックコンサートに行くことができるように親子室は必要かと思えます。皆さんの意見を聞きたいと思えます。

(委員)

出産後、音楽鑑賞に行きたいと思ったときに親子室が無くあきらめていました。アミューズ豊田には親子室があり、初めて子どもと出掛けることができた会場です。子どもが泣いても親子室があることにより、ゆったりした気持ちで聴くことができました。

(会長)

余裕があれば、親子室も必要ではないかということと、バルコニーがあることによって、違った見方もできるということ。親子室について意見ををお願いします。

(委員)

絶対にあっただ方がいいです。

(委員)

あった方がいいと思います。買い公演が多く子どもと一緒に観る企画が少なく親子室の利用率が少なくなることもあるかと思いますが部屋はあった方がいいです。創造型のホールでは、ロビーや他の部屋を使い親子で観てもらえる企画を多くやることがあります。きめこまやかな企画をたくさん出来ないとなったら親子室は最低限あった方がいいと思います。

(コンサル)

親子室は計画されることが多いと思います。子どもがいるから行けない、というのを減らし、多くの方が参加できる良い傾向です。主階席の後ろに部屋がある場合が多いです。

(委員)

親子室が磐田にあることを知らない人が多く、知らないから行かない、使われなと思います。逆にあることをPRし、磐田は子育てにも優しい町であることにつながればと思います。場所は後ろだと思いますが、柔軟にレイアウトも検討できたらと思います。

(会長)

乳幼児を連れて鑑賞できるような配慮が必要だという意見が大変多く、全国的にもそういう傾向ということですので入れていきたいと思います。

気になることはバリアフリーと、検討の当初に音楽専用とか演劇専用のホールではなく、いろいろな分野の公演ができる多目的なホールということできたかと思います。多目的なホールの中でも音響が非常に優れているなども必要かと思います。答申に加えてもいいかと思います。

(委員)

当然だと思います。音楽ホールのような専門ホールではないけども、どこに座ってもいい音が聞こえるように設計するのは常識というか、そのくらいの技術は持っていると思います。

(コンサル)

芝居、オペラやバレエといった舞台でも音は必要です。当然、音は良くあるべきですが、多目的ホールであっても、委員の皆様が賛同するのであれば専用ホール並の立派な音を作りたいということを明記することを薦めます。

(委員)

例えば演劇主目的の多目的であるとか、大型ミュージカルが上演できる多目的ホールであるとか、それを運営できるような意気込みが磐田市の中においても、どこかにあった方がいいと思います。

(コンサル)

舞台設備に凝り経費が増えるという話と、響きのいいホールに費用がかかるという話は少し違うと思います。同じ経費の中で音を良くする努力はできると思います。これは設計者の意気込みの問題で、そ

ういう気持ちになるように設計者にしっかりと注文することがいいと思います。

(会長)

多目的ホールではあるけれども音楽専用ホールに負けないような響きのいいホールでありたい、ということを入れたいと思います。

(委員)

外国だと思いますが、子どもの前に大人が座ると舞台が見えなくなりますが、座席を未使用の形で立てた形にして、そこへ座ることで快適に子どもと一緒に鑑賞できたということを聞いた記憶がありますが可能でしょうか。

(コンサル)

基本的に客席は大人のサイズでつくられます。子どもには重要な問題です。普通のホールでは座布団等を置いて座るということもあります。

(会長)

舞台は専用舞台ではなく多様な演出が可能だということ、間口より奥行きのある舞台が望まれるということです。オーケストラピットの導入ですが、この点について意見を聞きたいと思います。

(委員)

多目的ホールとしてつくらざるを得なく、公演の中で反響板が必要な団体と、照明効果が半減するため、飛ばしてほしいという公演が同居することがありうると思います。この時に天板だけでも、短い時間で飛ばすことができる構造は作れると聞きました。全部ではないにしても、後ろだけでも飛ばし照明を使うことは可能となるのでしょうか。

(コンサル)

音響反射板の作り方は様々です。技術的に工夫はいろいろできます。音響反射板を飛ばすには、上や横、脇に転がす等いろいろな方法があります。上へ飛ばすのが一般的で多いと思います。使い方の工夫ができる飛ばし方が良いと思います。

(委員)

舞台袖は、ある程度広いスペースが必要になってくると思います。子どもや生徒を待機させながら舞台装置の転換を行う場合には、ある程度袖が広くあった方が危険はないと思います。

(会長)

操作性の高い反射板を備えたいということ、袖は、ゆとりを持たせるということ。設計になると思いますけど入れていきたいと思います。

(委員)

バランスはありますが、奥行きが十分あり正方形に近いような舞台がとても使い易いと思います。

(会長)

オーケストラピットは、多様な使い方が考えられるということで、あった方がいいということによろしいですか。オーケストラを入れて演奏する使い方より、せり舞台として使う頻度が高いようです。オペラやミュージカル等を生演奏で行うという場合には不可欠な設備になります。楽屋はいかがですか。

(委員)

答申案には楽屋の部屋数や規模の検討の記載はありますが、動線はリハーサル室だけでなく楽屋についても工夫は必要かと思います。

(委員)

楽屋を十分とれるかは、建物の広さによると思います。今の市民会館の楽屋では足りません。そこで、振興センターを控室として使わざるを得なく、新しい文化会館で学生が利用し、楽屋が不足することがないように、2階、3階に会議室、研修室が整備されれば併用できると思います。そうでなければ、近くに控え室に変わるべき部屋があり、雨で濡れないように会場に入れる動線を考える必要があります。

(委員)

楽屋が足りないというのは、こういった状況でしょうか。

(委員)

プロは小部屋が足りなく、学生や合唱団等の発表会のときは小部屋もゲスト用に必要ですが、大部屋、中部屋が多めに必要です。

(委員)

楽屋代わりの控室の利用もそうですが、講演会があって会議といった時に、併設した方が使い勝手が高く、小さな部屋ばかりではなく大会議室的なものが併設しているとありがたいです。

(委員)

楽屋に関連して、市民グループの方が使う頻度が高い場合には大、小楽屋に加え会議室やリハーサル室が代用できることが必要です。プロの公演をやる場合は動線を必ず分け、プロの方たちが遠回りすることなく市民の目に触れないような動線など、きめ細かな配慮が必要かと思います。

(会長)

小楽屋は複数あった方がいい等としていきたいと思います。

ホールは大、中、小ホールを整備することができればいいが、現実的に困難ということで中ホールを兼ねた使い方ができる大ホールを整備し、小ホールはアミューズ豊田のゆやホールを活用していくとい

うこと。また、ホワイエは、来館者の交流場所として快適な空間を整備するということです。

リハーサル室は、基本理念に創造の発信を掲げています。リハーサル室の広さ、設備、数等について意見がありましたらお願い致します。

(委員)

リハーサル室は舞台袖分はいりませんが舞台と同じ広さが欲しいです。バレーバーも大人用と子ども用を整備し、床はジャンプしても危なくない張り方をお願いします。最近、舞台と同じリノリウムを敷いているところが多いです。

(委員)

1500席の大ホール1つの新しい文化施設です。いろいろな方が集うとか、にぎわいは最大の目的になり、舞台の大きさのリハーサル室は必須ではないかと思えます。中、小ホールはない訳ですからリハーサル室だけでも利用ができ、舞台に使えるようにしっかりと確保した方が良いと思えます。

(委員)

照明機材や袖幕を吊るバトンが何本かあることで小ホールとして使用できると思えます。

(委員)

個別に貸出しする練習室はあった方がよいと思えます。録音ができるスタジオ練習室があればよいと思えます。若者がバンドをやるとか創造という意味でも非常に有効ではないかなと思えます。

(委員)

リハーサル室の大きいところは舞台と同じ広さがあります。市内に録音が可能なスタジオが他になく、練習室で録音やレコーディングができれば利用率が高まると思えます。

(会長)

練習室等のニーズは高く幅広く活用していただくという意味であった方がよいということです。交流系施設のホワイエ、ロビー、売店についての意見がありましたらお願いします。

(委員)

海外のオペラハウスは、ロビーが博物館、美術館のようで、そこだけでも楽しめます。新しい会館のロビーで磐田市の芸術文化、歴史文化を感じるのは難しいと思えますが、シンプルで品のいいロビーにしたいです。絵画や彫刻があることで、工夫して雰囲気がある空間ができれば市民が楽しんでそこに集まるのではないのでしょうか。

(委員)

ロビーは外からも、中に入っても、人の動きが見えたり、にぎわいがわかるような使い勝手のいい部屋がいくつかあり、それによってロビーがにぎわい、人の出入が多いことがよくわかるようなスペース

があることは、新しい磐田のタイプの劇場の場合は大前提だと思います。

劇場によっては、ワクワク感をつくりあげるためロビーからホワイエに出たときの雰囲気が違うとか、もっと交流ができたり、にぎわいがわかる方がいいということで仕切りで分けます。

チケットは金券なので管理が曖昧にならないよう考えることは運営者の行うことです。

(委員)

鑑賞者から考えると、会場の前に人気のある催し物は長蛇の列になります。今は外で雨に傘をさしながら待つ、寒さに震えながら待つようなことが多々あります。できればスペースを広くとり、快適に待てる館にしてもらいたいと思います。

(会長)

にぎわい創出という意味で、アミューズ豊田も含めて来館者が多目的に使用できるスペースを確保することが望ましいという意見です。ロビーに相当するスペースは大ホールを使用していないときでも、市民が使えるような空間にできるといいということだと思います。

(委員)

親子で楽しめるロビーコンサートができるとか、動きが良く見えるスペースがあることで、にぎわい創出や、にぎわった感が見えます。

(会長)

売店は現状では活用されておらず、慎重に検討されたいということですが意見がありましたらお願いします。

(委員)

現在の形式のものは、いらないと思います。グッズ販売を行う場所はあるといいかと思います。飲食であれば不要でいいのかと思います。販売は今までどおり机を並べて行えばいいのかと思います。

(会長)

建物に関わる場所では、市の芸術文化活動の拠点ですので、しっかりしたものを、ということですが、あまり外観に費用をかけることなく機能を重視し、後のメンテナンスもしやすいことが望ましいということです。

(委員)

シンプルで品格は重視したいと思います。会場内の客席の色にしてもシンプルな色とし、舞台が一番美しく見えるようにしたいと思います。あまり奇をてらわない方がいいと思います。

(委員)

今までの議論は使う側がこうありたいということが続けてきました。つくる側から考えると、必要な

機能を生かし必要ないものを削ることは、つくる側の立場では非常に大事な視点です。その他の項目として、片づけては困るのではないのでしょうか。

客席は1500席必要ということですが、本当に1500席の規模が必要かを考えた時に、それは必要だと厳しい判断をしています。今までの話の中で、ここだけは譲れないというものがいくつか出ています。それでも削れるとがあれば削るしかなく、本来、展示室や中、小ホールも揃った施設が望ましいことですが、大ホールを2層にすることでクリアし、小ホールはアミューズゆやホールを利用するといった厳しい状況です。この内容は別書きにしてもいいと思います。また、展示施設もかなり議論をしてきましたので項目立てしてもよいのではないのでしょうか。

(委員)

多くの人ができる練習室をつくるのは賛成です。それと、併用できる会議室等もつくり練習室に限らず他にも利用できる工夫ができればいいと思います。また、アミューズと新しい文化会館の両方を上手に使っていくための動線が気になります。雨風がしのげて、移動が可能な渡り廊下があるとアミューズと新しい文化会館との活用効果が大きいと思います。

施設設備や維持管理のために過度な費用をかけない配置への考慮が必要である。この表現が抽象的で、ということ表現しているのか意見をお聞きしたいと思います。

(委員)

展示施設は文化会館と一体が望ましいということは会議が発足した時から主張してきました。そういう方向で議論が進むと思ってきました。現市民文化会館の跡地利用で数年後には実現するように答申へ盛り込み、施設の完成の折には施設を生かす人材育成も大切なことで、マネジメントをする人の育成も盛り込むことが、これからの磐田市の文化政策を進めるに必要ではないかと思います。

(会長)

人材の育成も答申へ入れたいと思います。展示施設は、一体整備が望ましいが、新しい文化会館の中にも含めることが難しい時は、現在の市民文化会館の跡地を利用するなど検討が望ましいとしてよろしいですか。

(委員)

静岡県の中学校の文化事業に中文連というものがあり、東、中、西部の持ち回りで発表会を行っています。平成30年、31年頃に西部地区で行います。発表会はステージと作品の発表があり、伊豆、東部地区からもバスを使い集まります。展示とステージ発表の場所が離れてしまうことは難しく、ホワイエに作品を置けるようなスペースを確保し、会議室でも展示ができるよう何かしら対応できる施設にいただけるとありがたいです。

(委員)

展示施設をしっかりと項目として記載した方がいいと思います。また、施設の中に事務所と打ち合わせのスペースも備える配慮も必要と思います。

(会長)

展示施設につきましては、独立した項目で記載したいと思います。

防災機能のことですが、アミューズ豊田は避難場所に指定されています。新しい文化会館は集客施設であり、完成後は防災拠点として位置づけられると思われます。国土交通省が作る災害の被害想定では、100年～150年に1回あるかないかという想定で天竜川が決壊した時に約5mの浸水があると想定される地域です。可能な限り防災機能を装備していくことが望ましいと思います。

もう一つはトイレは洋式とし数もたくさんあったほうが良いと思います。

最初の質問で、過度の費用をかけない配置への考慮が必要であるということの意味について事務局で説明をお願いします。

(事務局)

答申案で配慮をする視点について、建物の配置と人の流れの動線で、既存の施設との連携、経済性、意匠という4つを挙げました。答申は文章にまとめたいと思います。

(会長)

既存の施設と新しい文化会館の連携が一つです。渡り廊下をつけるくらいの取り組みは必要ということと、デザインはシンプルで見栄えのいいものということだったと思います。それらを総合して維持管理に費用がかからないということです。

(委員)

アミューズと新しい文化会館の動線が失敗してしまい別々のものになると、お互いのプラス面が生まれなくなることを心配しています。動線に神経を使ってもらいたいと思います。

(委員)

建物がバイパスに隣接をしていますので、防音対策を講じていただきたいと思います。

(委員)

道の問題は、既存の建物と連携の中で非常に大事な問題だと思います。真ん中に東西に走る道まで敷地内に取り込めば南北の流れを作ることでもあります。東西の道がある程度決めないと、動線のための廊下をどうするかという話になってくる気がします。

(委員)

アミューズは、駐車場に余裕があるということが選ばれた理由の一つだと思います。アミューズと文化会館と同じ日に事業が重なった場合、新しい文化会館としてある程度の必要な駐車場の確保は必要ではないかと思います。その辺も考慮していただきたいと思います。

(委員)

アリーナで大きなイベントがあると今でも駐車場が足りないらしいです。また、文化会館は大型車両

で舞台装置の搬入があります。大型車両の搬入は既存の道で出来るか疑問もあります。

（会長）

基本設計につながる重要な部分ですので、委員会の意見を整理し判読しやすいような形で文章を練りたいと思います。

（委員）

駐車場は建物の地下、あるいは、立体にするなど上も下もまだ使えるような気がします。費用はかかるとは思いますが可能かと思えます。

（会長）

具体的に貴重な提案をいただきありがとうございました。今日の意見を事務局で整理していただき、次回確認をすることにしたいと思います。それでは事務局の方にお返しを致します。

次回の日程を確認して終了